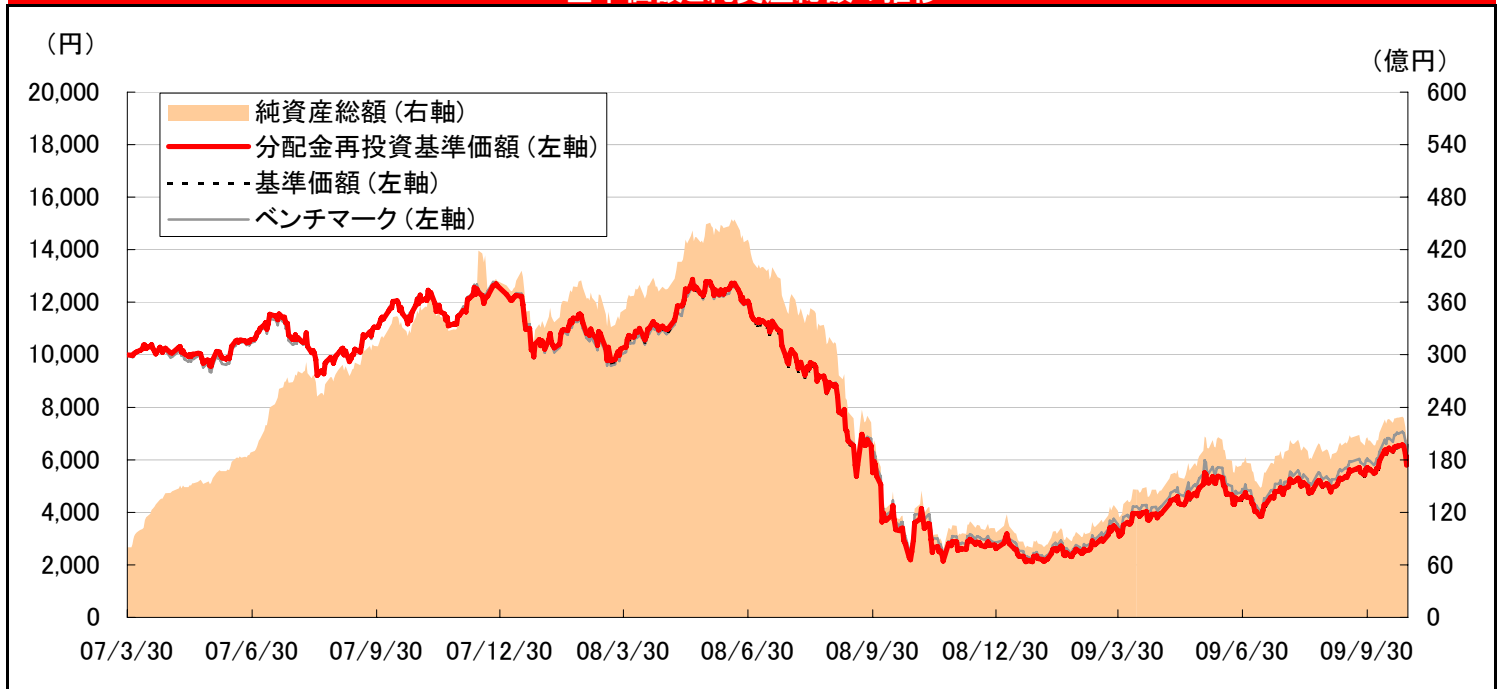


HSBC ロシア オープン

追加型投信/海外/株式

基準価額と純資産総額の推移



* 基準価額は信託報酬控除後のものです。分配金再投資基準価額は税引前分配金を再投資したものです。将来の分配金の金額は、運用状況によって変化します。ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しております。

商品概要

| | |
|------|----------------|
| 商品分類 | 追加型投信/海外/株式 |
| 設定日 | 2007年3月30日 |
| 信託期間 | 無期限 |
| 決算日 | 原則、3月15日/年1回決算 |

税引前分配金の推移(1万口当たり)

| 決算期 | 分配金(円) |
|---------------|--------|
| 第1期(08年3月17日) | 100 |
| 第2期(09年3月16日) | 0 |
| - | - |
| - | - |
| - | - |
| - | - |
| - | - |
| - | - |
| - | - |
| 設定来累計 | 100 |

基準価額等 (2009年10月30日現在)

| | |
|-------------------|--------|
| 1万口当たり基準価額(円) | 6,052 |
| 設定来高値(2008年5月20日) | 12,750 |
| 設定来安値(2009年1月26日) | 2,099 |
| 純資産総額(億円) | 211.0 |

* 基準価額は信託報酬控除後のものです。

期間別騰落率(税引前)

| | ファンド | ベンチマーク |
|------|--------|--------|
| 1ヶ月 | 7.0% | 8.7% |
| 3ヶ月 | 24.3% | 27.5% |
| 6ヶ月 | 55.1% | 57.2% |
| 12ヶ月 | 69.6% | 68.2% |
| 36ヶ月 | - | - |
| 設定来 | -38.9% | -34.3% |

* 基準価額の騰落率は税引前分配金を再投資したものと計算しています。

* 将来の分配金は運用状況によって変化します。

信託財産の構成 (2009年10月30日現在)

| | |
|--------------------|--------|
| HSBCロシアマザーファンド受益証券 | 100.0% |
| キャッシュ等 | 0.0% |
| 合計 | 100.0% |

* 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

HSBC ロシア オープン

追加型投信/海外/株式

組入上位銘柄と対純資産組入比率 (2009年10月30日現在)

| 順位 | 銘柄名 | 業種 | 比率 |
|-------|---------------------|-------|------|
| 1 | ルクオイル ADR | エネルギー | 9.2% |
| 2 | ロスネフチ GDR | エネルギー | 9.1% |
| 3 | ズベルバンク | 銀行 | 9.0% |
| 4 | ガスプロム ADR | エネルギー | 8.9% |
| 5 | ノリリスク・ニッケル ADR | 非鉄金属 | 4.7% |
| 6 | メケル ADR | 鉄鋼 | 4.5% |
| 7 | システマ GDR | 通信 | 4.3% |
| 8 | モバイル・テレシステムズ ADR | 通信 | 4.2% |
| 9 | ノヴァテク GDR | エネルギー | 4.1% |
| 10 | ビンペル・コミュニケーションズ ADR | 通信 | 4.1% |
| 組入銘柄数 | | | 36 |

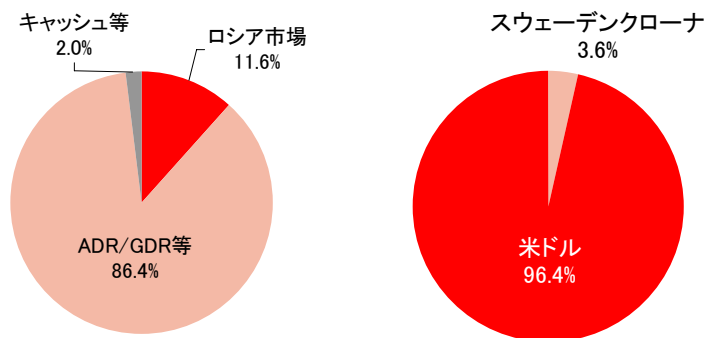
* マザーファンドの組入上位銘柄と比率です。普通株、優先株、ADR、GDR等は別銘柄として表記しています。

* 銘柄名は、情報サービス業者の表記を参考にHSBC投信が翻訳したものであり、発行体の公式な和文名称と異なる場合があります。

業種別組入比率 (2009年10月30日現在)

| 業種 | 比率 |
|------------------------|--------|
| エネルギー | 34.4% |
| 通信 | 13.3% |
| 銀行 | 11.8% |
| 鉄鋼 | 7.1% |
| 電力・ガス | 4.9% |
| 非鉄金属 | 4.7% |
| 石油・石炭 | 4.4% |
| エネルギー関連機器・サービス | 2.8% |
| 化学 | 2.7% |
| 素材 | 2.3% |
| 運輸 | 2.0% |
| 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | 2.0% |
| 建設資材 | 1.2% |
| その他 | 4.3% |
| キャッシュ等 | 2.0% |
| 総計 | 100.0% |

市場別・通貨別組入比率 (2009年10月30日現在)

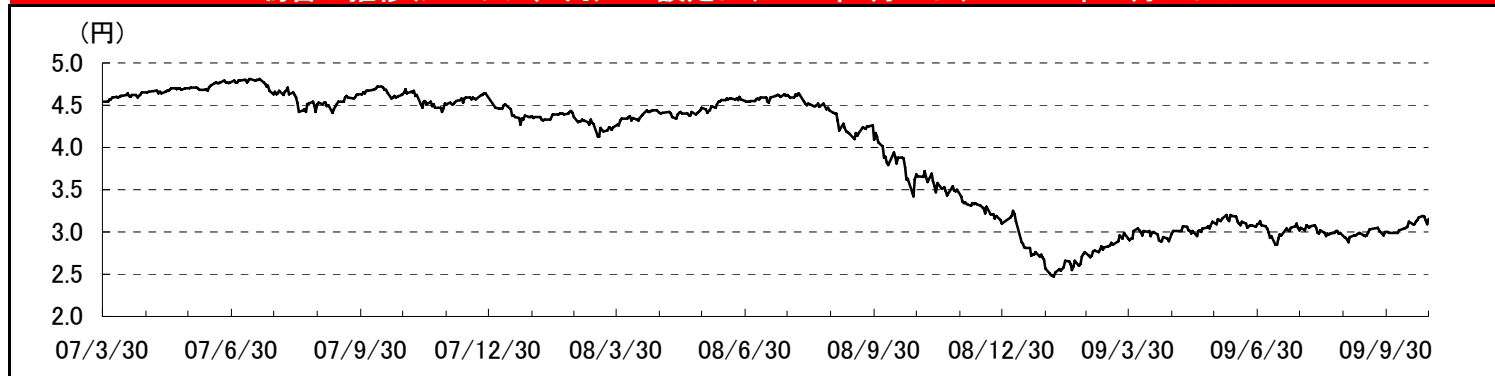


* 通貨別はキャッシュ等を除いた組入比率です。

* マザーファンドの組入比率です。

* 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

為替の推移(ルーブル/円) <設定日(2007年3月30日)~2009年10月30日>



出所:投資信託協会

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

HSBC ロシア オープン

追加型投信/海外/株式

10月のロシア株式市場

10月のロシア株式市場は続伸し、RTS指数は前月末比+7.5%の1,348.5で取引を終えました。RTS指数は10月26日に年初来高値の1,476.1をつけましたが、その背景としては、①米国で9月の鉱工業生産指数が前月比で3ヶ月連続してプラスの伸び率となったことや主要企業の7-9月期決算が好調な滑り出しを見せたことから株式市場が上昇したこと、②中国の9月の輸出が前年同月比でマイナス幅が縮小、韓国も過去11ヶ月間で最小のマイナス幅となるなど両国の輸出が回復傾向にあることから世界的な需要回復が窺われ、これが世界の株式市場に好材料となったこと、③中旬には、原油価格(WTI)が昨年10月中旬以来のバレル82米ドルを付けたこと、などが挙げられます。その後、月末にかけては、米国の住宅指標の悪化などから米国をはじめ世界経済の回復に対する不透明感が増し、原油価格が下落すると共にロシア市場も軟調となりました。

個別銘柄*では、化学肥料大手ウラルカリが前月末比+34.2%と大幅上昇しました。これは、2006年の洪水事故で消滅すると見られた同社の塩化カリウム第1鉱山埋蔵量の約60%が採掘可能との天然資源省の見解が材料視されたものです。金鉱床開発大手ポリウスゴールドは、金価格がオンス1,000米ドルを超える展開となってきたことから、前月末比+12.7%となりました。銀行大手ズベルバンクは、原油価格の上昇に伴い通貨ルーブルが通貨バスケット(構成比:ユーロ約45%、米ドル約55%)に対し35ルーブル台前半と本年1月中旬以来の水準まで回復したこともあり、外貨建て債務負担が軽減されるとの思惑から、前月末比+13.1%となりました。通信大手システムは前月末比+19.2%となりました。これは、同社保有の固定通信・ブロードバンド・インターネットサービスのコムスター・ユナイテッド・テレシステムズ株式50.9%を、通信大手モバイル・テレシステムズに売却したと発表、売却額が時価評価額を上回ったことが市場で好感されたためです。石油株も好調で、ルクオイルが前月末比+9.5%となりました。一方、公益株は軟調で、配電大手フェデラル・グリッド・カンパニーは前月の大幅上昇の反動などから前月末比-6.8%となり、また、水力発電大手ロスハイドロも8月下旬に東シベリアのサヤノ・シュシエンスク水力発電所で起きた大事故が引き続き株価に影響し前月末比+3.4%と伸び悩みました。

最近の経済面の好材料としては、9月の鉱工業生産指数が前年同月比-9.5%となったものの、市場予想の-12.1%を大幅に上回り、マイナス幅が昨年12月以降最小となったことが挙げられます。さらに、インフレ率は、10月のCPI(消費者物価指数)が前年同月比+9.7%と、2007年9月以来の9%台まで低下してきました。中央銀行は、インフレ率が低下していることから、政策金利であるリファイナンスレートを0.5%引き下げ9.5%としました。

反面、9月の小売売上高は前年同月比-9.9%と依然として不冴えでした。9月の設備投資も前年同月比-18.6%と、8月の同-19.4%に比べて若干マイナス幅が縮小したものの、3ヶ月連続して下落率は20%近くと弱含んでいます。

*個別銘柄の騰落率はロシア市場(RTS)ベースに基づいたものであり、米国預託証券(ADR)およびグローバル預託証券(GDR)の騰落率とは異なります。

投資戦略及び今後の見通し

10月の当ファンドの基準価額は前月末比+7.0%となりましたが、ベンチマークを若干下回りました。公益セクターをベンチマークに対してアンダーウエートしていたこと、通信大手システムをオーバーウエートに、同業のモバイル・テレシステムズをアンダーウエートしたことがプラス寄与しました。また、石油株もプラス寄与しました。一方、素材セクターをアンダーウエートしていたこと、特に、ウラルカリとポリウスゴールドをアンダーウエートしていたことがマイナス寄与となりました。当月は、裁量消費関連銘柄の配分を引き下げ、エネルギー銘柄の配分を引き上げました。前者は年初来のリターンが極めて高くなり、バリュエーション(株式評価)面での魅力が薄れてきたこと、後者はバリュエーション面で割安感が出てきたと判断したためです。さらに、鉄鋼・鉱業大手メケルの配分を引き上げました。同社はコークス炭をフル稼働で安定的に生産していることが魅力的と判断したためです。

原油価格が底堅く推移してきたことや中国をはじめ新興国の回復基調から素材需要が上向していることなどを背景に、RTS指数は年初から10月末までの上昇率が113%と急騰を演じました。しかしながら、世界経済は安定化から回復に向かいつつあることを背景に経済指標に好材料が出てきたものの、国内の消費や投資は依然弱含んでいることから、景気回復の足取りは脆弱であり、力強い回復局面には至っておりません。短期的に同国市場には依然不透明感が残っています。

市場関係者の中には、世界経済の回復が予想以上に遅れる兆候が出てきた場合、ロシア市場では利益確定の売りが優勢になるとの見方が出てきています。但し、これまでは、市場が売り優勢になると、同国市場の配分を低めにしてきた投資家がバリュエーション面で魅力的と判断し、市場への資金流入が生じる展開となっていました。このような状況は、投資家のリスク選好が維持される限り、変わらないと考えています。

ロシア市場にとっての好材料としては、各国による協調しての経済回復努力が継続されるものと期待されることや、力強い回復を見せる中国やインドなどからのエネルギーおよび素材需要が増大するものと見られることなどが挙げられます。

当ファンドは、バリュエーション面で魅力的で、内外の経済回復の恩恵を受け、更に、今後発表される7-9月期決算や10-12月期の好調な業績が予想されるセクターや個別銘柄に焦点を当ててポートフォリオを構築しています。

設定・運用: HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

当ファンドの特色



ロシア企業の発行する株式等に投資

HSBC ロシア マザーファンド(「マザーファンド」といいます。)への投資を通じ、主にロシア企業の発行する株式およびそれに準ずる証券(米国預託証券(ADR)、グローバル預託証券(GDR)を含みます。)等に投資します。ただし、ロシア企業以外にもロシア経済の発展と成長に係わる企業の発行する株式等に投資することがあります。

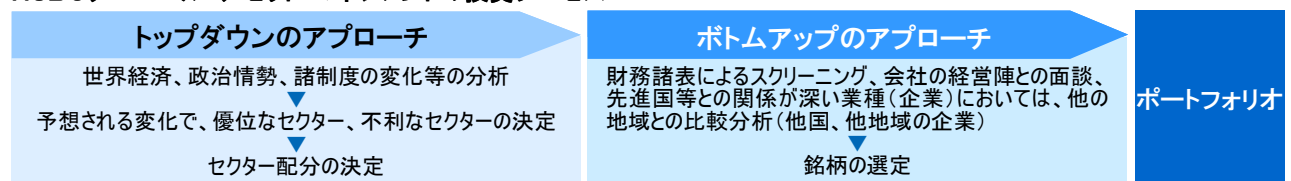
新興国市場の有価証券は一般的に先進国の有価証券と比較して値動きが大きいため、基準価額の値動きも大きくなる傾向があります。



景気サイクルの分析(トップダウン)と企業分析(ボトムアップ)を併用した投資決定のプロセス

株価は企業の業績やマクロ経済の動向等様々な要因で変動します。そのため、HSBC投信が属するHSBCグローバル・アセット・マネジメントでは1つの投資決定方法に偏ることなく、景気サイクル等の分析(トップダウン)と徹底した企業分析(ボトムアップ)を併用しています。

HSBCグローバル・アセット・マネジメントの投資プロセス



ベンチマークはMSCIロシア10/40指数※(円ベース)

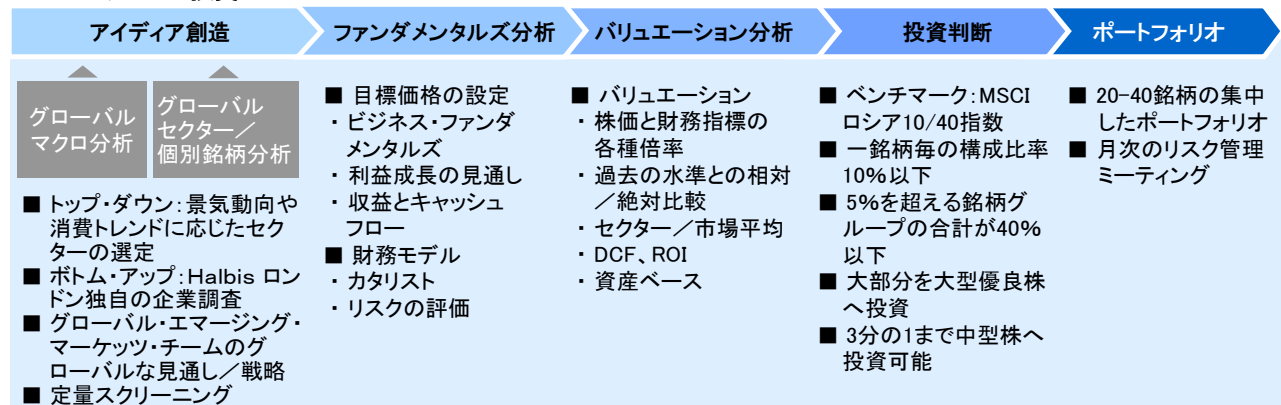
MSCIロシア10/40指数(円ベース)をベンチマークとし、中長期的に当該インデックスを上回る投資成果をめざします。
 ※MSCIロシア10/40指数とは、MSCI社(モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル・インク)が開発、計算した指数で、同指数に関する著作権、知的財産その他一切の権利は、MSCI社に帰属します。またMSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。



運用はHalbis キャピタル・マネジメント(UK)リミテッドが行います

- ▶ 運用委託契約に基づいて、Halbis キャピタル・マネジメント(UK)リミテッドにマザーファンドの運用指図に関する権限を委託します。
- ▶ Halbis キャピタル・マネジメント(UK)リミテッドは、HSBCグループの一員です。

マザーファンドの投資プロセス



原則として為替ヘッジは行いません

外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

為替レートの変動により基準価額は変動します。投資対象資産の通貨に対し円高になった場合、基準価額が下落する要因となります。



ファミリーファンド方式で運用

ファミリーファンド方式とは、受益者の投資資金をベビーファンド(当ファンド)としてまとめ、その資金を主としてマザーファンドに投資することにより、実質的な運用を行う方式です(ベビーファンドがマザーファンドに投資する際のコストはかかりません)。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

設定・運用: HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

当ファンドの主なリスク

当ファンドは実質的に外国株式を投資対象としています。当ファンドの基準価額は、実質的な組入株式の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。以下は、当ファンド（マザーファンドを含みます。）に関する投資リスク（基準価額に影響を及ぼすリスク）の一部要約であり、すべてのリスクを網羅するものではありません。当ファンドのリスクの詳細につきましては「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

1 株価変動リスク

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は短期的または長期的に大きく下落することがあります。株式市場には株価の上昇と下落の波があり、これが繰り返される傾向にあります。現時点で価格が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。

2 信用リスク

株式および債券等の有価証券の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる可能性があります。債券等への投資を行う場合には、発行体の債務不履行や支払遅延等が発生する場合があります。

3 為替変動リスク

外貨建資産の円換算価値は、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。

4 流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。

5 カントリーリスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または資本取引に関する規制の変更や新たな規制が設けられた場合には、投資方針に沿った運用が困難になることがあります。

当ファンドのお申込みに関しては、上記のリスクをご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身でなさいますようお願い申し上げます。

留意点

当資料はHSBC投信株式会社が作成した販売用資料(販売会社固有情報部分を除きます。当該情報の詳細については販売会社にお問い合わせください。)です。当資料は信頼に足ると判断する情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の記載内容等は作成時点のものであり今後変更されることがあります。またデータ等は過去の実績を示したものであり将来の成果を示唆するものではありません。投資信託はリスクを含む商品であり、株式、公社債および投資信託証券等値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は組入有価証券の値動き、為替変動による影響を受けます。したがって元本が保証されるものではありません。投資信託の運用成果(損益)は全て投資家の皆様に帰属します。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。取得申込に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面を必ずお受け取りの上、内容をご確認いただきご自身でご判断ください。

委託会社、その他関係法人

| | |
|---|---|
| 委託会社 HSBC投信株式会社 | 投資顧問会社 Halbis キャピタル・マネジメント(UK)リミテッド |
| 当ファンドの委託会社として、信託財産の運用指図等を行います。 | 委託会社よりマザーファンドの運用指図に関する権限の委託を受けて投資判断、発注を行います。 |
| 受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 (再信託受託会社: 日本マスタートラスト信託銀行株式会社) | 販売会社* |
| 当ファンドの受託会社として、信託財産の保管、管理、計算、その他の付随業務等を行います。 | 当ファンドの販売会社として、募集・販売の取扱い、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金の再投資に関する事務、収益分配金、一部解約金および償還金の支払等を行います。 |

※ 販売会社固有情報(金融商品取引業者(登録番号)、加入協会等)については、当資料内「お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)」のご請求は「」をご覧ください。販売会社は、投資信託説明書(交付目論見書)の提供場所になります。

照会先

HSBC投信株式会社

電話番号 03-3548-5690

ホームページ www.assetmanagement.hsbc.com/jp

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

お申込みに関する要項

お申込メモ

| | |
|-----------|--|
| 信託期間 | 無期限(設定日：平成19年3月30日) なお、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等は、信託を終了させる場合があります。 |
| 申込単位 | 販売会社が個別に定める単位とします。 「一般コース」と「自動けいぞく投資コース」の2つのコースがあります。 申込単位、取扱いコースの有無および各コースの名称は販売会社によって異なります。 |
| 申込価額 | 取得申込受付日の翌営業日の基準価額 |
| 決算および収益分配 | 年1回の決算時(3月15日、休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づき分配します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。 |
| 解約単位 | 販売会社が個別に定める単位とします。 |
| 解約価額 | 解約申込受付日の翌営業日の基準価額 |
| 解約代金支払日 | 解約申込受付日から起算して6営業日以内 |
| 課税関係 | 原則として、収益分配金ならびに、解約時および償還時の譲渡益(法人の場合は異なります。)に対して課税されます。 なお、課税区分は株式投資信託です。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。 (税法等が改正された場合には、内容が変更になることがあります。) |
| 申込受付不可日 | 国内の営業日であっても、以下のいずれかの休場日に該当する場合には、取得および解約の申込受付は行いません。 ● ロシアの証券取引所 ● ロンドン証券取引所 ● ニューヨーク証券取引所 |
| 申込受付時間 | 午後3時(わが国の金融商品取引所が半日立会いの場合には、午前11時)までとします。受付時間を過ぎてのお申込みは、翌営業日の取扱いとなります。ただし、受付時間は販売会社によって異なる場合があります。 |

当ファンドにかかる費用

申込時に直接ご負担いただく費用

| | |
|-------|--|
| 申込手数料 | 申込価額に3.675%(税抜3.5%)を上限として、販売会社が個別に定める手数料率を乗じて得た額 |
|-------|--|

換金時に直接ご負担いただく費用

| | |
|---------|--------|
| 信託財産留保額 | ありません。 |
| 換金手数料 | ありません。 |

投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

| | |
|-------|--|
| 信託報酬 | 純資産総額に対して年2.0475%(税抜年1.95%)を乗じて得た額 |
| その他費用 | (1) 有価証券売買委託手数料／外貨建資産の保管費用／借入金利息、融資枠設定に要する費用／信託財産に関する租税、信託事務処理に要する費用、受託会社が立替えた立替金利息等 (2) 投資信託振替制度に係る手数料および費用／法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用／当ファンドの受益者に対して行う公告に係る費用／法定書面の作成、印刷、交付に係る費用／監査報酬および法律顧問、税務顧問に対する報酬および費用等((2)の項目については純資産総額に対し上限年0.2%としてファンドより支払われます。) (その他費用の上限額については、事後的に発生するものがあるため表記できません。) |

※費用総額については、事後的に発生するものがあること、また運用状況等により変動するため表記できません。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

設定・運用：HSBC投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第308号 加入協会／(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なりスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

HSBC ロシア オープン

追加型投信/海外/株式

お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は

(商号・金融商品取引業者の登録番号・加入協会の順に表示、証券・銀行・保険毎 五十音順、2009年11月17日現在)

| 金融商品取引業者名 | 金融商品 取引業者 | 登録金融 機関 | 登録番号 | 日本 証券業 協会 | (社)日本 証券投資 顧問業 協会 | (社)金融 先物 取引業 協会 |
|--|--------------|------------|------------------|-----------------|----------------------------|--------------------------|
| 安藤証券株式会社 | ○ | | 東海財務局長(金商)第1号 | ○ | | ○ |
| いちよし証券株式会社 | ○ | | 関東財務局長(金商)第24号 | ○ | | |
| 岩井証券株式会社 | ○ | | 近畿財務局長(金商)第3号 | ○ | ○ | ○ |
| HSBC証券会社東京支店 | ○ | | 関東財務局長(金商)第212号 | ○ | | ○ |
| エース証券株式会社 | ○ | | 近畿財務局長(金商)第6号 | ○ | ○ | |
| 株式会社SBI証券 | ○ | | 関東財務局長(金商)第44号 | ○ | | ○ |
| 岡三オンライン証券株式会社 | ○ | | 関東財務局長(金商)第52号 | ○ | | ○ |
| オリックス証券株式会社 | ○ | | 関東財務局長(金商)第55号 | ○ | | ○ |
| 香川証券株式会社 | ○ | | 四国財務局長(金商)第3号 | ○ | | |
| カブドットコム証券株式会社 | ○ | | 関東財務局長(金商)第61号 | ○ | | ○ |
| キャピタル・パートナーズ証券株式会社 | ○ | | 関東財務局長(金商)第62号 | ○ | | |
| 極東証券株式会社 | ○ | | 関東財務局長(金商)第65号 | ○ | | |
| コスモ証券株式会社 | ○ | | 近畿財務局長(金商)第15号 | ○ | ○ | ○ |
| 篠山証券株式会社 | ○ | | 近畿財務局長(金商)第16号 | ○ | | |
| 静岡東海証券株式会社 | ○ | | 東海財務局長(金商)第8号 | ○ | | |
| 静岡ティーエム証券株式会社 | ○ | | 東海財務局長(金商)第10号 | ○ | | |
| ジョインベスト証券株式会社 | ○ | | 関東財務局長(金商)第91号 | ○ | | ○ |
| そしあす証券株式会社(インターネットのみ) | ○ | | 関東財務局長(金商)第105号 | ○ | | ○ |
| 高木証券株式会社 | ○ | | 近畿財務局長(金商)第20号 | ○ | | |
| 東武証券株式会社 | ○ | | 関東財務局長(金商)第120号 | ○ | | |
| 内藤証券株式会社 | ○ | | 近畿財務局長(金商)第24号 | ○ | | ○ |
| 成瀬証券株式会社 | ○ | | 関東財務局長(金商)第127号 | ○ | | |
| 新潟証券株式会社 | ○ | | 関東財務局長(金商)第128号 | ○ | | |
| 日興コーディアル証券株式会社(「投信つみたてプラン」・「投信スーパーセンター」) | ○ | | 関東財務局長(金商)第2251号 | ○ | ○ | ○ |
| ばんせい山丸証券株式会社 | ○ | | 関東財務局長(金商)第148号 | ○ | | ○ |
| 播陽証券株式会社 | ○ | | 近畿財務局長(金商)第29号 | ○ | | |
| ひろぎんウツミ屋証券株式会社 | ○ | | 中国財務局長(金商)第20号 | ○ | | ○ |
| フィデリティ証券株式会社 | ○ | | 関東財務局長(金商)第152号 | ○ | | |
| マネックス証券株式会社 | ○ | | 関東財務局長(金商)第165号 | ○ | | ○ |
| 丸八証券株式会社 | ○ | | 東海財務局長(金商)第20号 | ○ | | |
| 三津井証券株式会社 | ○ | | 北陸財務局長(金商)第14号 | ○ | | |
| 明和証券株式会社 | ○ | | 関東財務局長(金商)第185号 | ○ | | |
| 山形証券株式会社 | ○ | | 東北財務局長(金商)第3号 | ○ | | |
| 山和証券株式会社 | ○ | | 関東財務局長(金商)第190号 | ○ | | |
| 楽天証券株式会社 | ○ | | 関東財務局長(金商)第195号 | ○ | | ○ |
| リテラ・クリア証券株式会社(インターネットのみ) | ○ | | 関東財務局長(金商)第199号 | ○ | | ○ |
| イーバンク銀行株式会社(インターネットのみ) | | ○ | 関東財務局長(登金)第609号 | ○ | | ○ |
| 株式会社イオン銀行(インターネットのみ) | | ○ | 関東財務局長(登金)第633号 | ○ | | |
| オリックス信託銀行株式会社(インターネットのみ) | | ○ | 関東財務局長(登金)第11号 | ○ | | |
| 京都信用金庫 | | ○ | 近畿財務局長(登金)第52号 | ○ | | |
| 株式会社ジャパンネット銀行(インターネットのみ) | | ○ | 関東財務局長(登金)第624号 | ○ | | ○ |
| 株式会社中国銀行 | | ○ | 中国財務局長(登金)第2号 | ○ | | ○ |
| ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド | | ○ | 関東財務局長(登金)第105号 | ○ | | ○ |

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。